

2025年3月7日

## さいたま市見沼区での「春の子ども食堂」開催について ～地元産の「むさしの米」を用いたお弁当などを提供します～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2025年3月15日（土）、七里支店（さいたま市見沼区）にて、さいたま市子ども食堂ネットワーク（代表 本間 香）と連携したイベント「春の子ども食堂」を開催いたしますので、お知らせします。

当行では、2023年よりフードドライブの取組みを開始し、「埼玉県子ども食堂ネットワーク」および「さいたま市子ども食堂ネットワーク」といった支援団体、埼玉県ほか行政と連携・協働しながら、ワークショップや情報発信イベントを開催するなど、多様な切り口で子ども食堂を応援しております。

今般の「春の子ども食堂」では、当行がさいたま市見沼区の田んぼで展開している「むさしのアグリノベーションプロジェクト」で栽培した「むさしの米」を用いたお弁当に加え、ご家庭用として「むさしの米」とそれを用いた「おこげせんべい」を提供いたします。

2024年8月の「夏の子ども食堂」に続き、七里支店で2回目の開催となる本イベントでは、地元産食材に触れ、「地産地消」について考える契機としてもらうことを企図しています。

当日は、お金や銀行について楽しく学ぶクイズ等、金融リテラシー向上に繋がる取組みもあわせて実施いたします。

当行では今後も、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長に貢献する取組みを積極的に行ってまいります。

### 《開催概要》

日時	2025年3月15日（土） 11:00～13:00	
会場	武蔵野銀行 七里支店（さいたま市見沼区大字東宮下350-2）	
主な実施内容	食事の提供	さいたま市子ども食堂ネットワークのキッチンカーが出張し、地元産「むさしの米」を用いたお弁当を配布します。（100食）
	金融教育	お金や銀行について楽しく学ぶクイズ等を行います。
	フードドライブ	野菜やお菓子、生活雑貨などを配布します。 当行からは「むさしの米」（300g×3パック）、「おこげせんべい」を提供します。

以上

報道機関からのお問い合わせ先  
地域サポート部 地域価値創造室 石川 嘉世  
TEL (048) 641-6111（代表）